

1. 概要

規約の変更について確認を行い、本協議会が法定協議会として正式に承認され、平成29年度の活動について各機関から報告を行い情報共有を行った。また、平成29年7月出水における各機関の対応及び課題等について活発な意見交換が行われた。

2. 実施状況

- 日時 : 平成30年2月5日(月)
- 場所 : 武雄河川事務所3階 会議室
- 出席者 : 佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、小城市、神崎市、白石町、大町町、江北町、佐賀県、佐賀地方気象台、武雄河川事務所

関係機関約30名参加

会議状況



3. 議事内容

- ①平成29年度第1回協議会の議事概要の確認について
- ②規約の変更について
- ③嘉瀬川・六角川・松浦川流域の取組について
- ④平成29年7月九州北部豪雨の対応状況
- ⑤平成29年7月出水における各機関の対応及び課題等

4. 主な意見・コメント等(平成29年7月出水における各機関の対応及び課題)

- ①タイムラインの試行において、時間的にうまくいかない部分もあったが、表を見ながら取るべき行動を事前に把握し、準備を進めることができた。
- ②急激な水位上昇であったため、避難勧告の発令が難しかった。上流の降雨量の情報があれば、より正確な避難勧告のタイミングが取れたのではないかと思う。
- ③六角川の中下流部では、潮の影響を強く受けるので、潮見橋だけでは判断が難しく動きづらい。
- ④一つの部署のみの対応では限界がある。警報が発令される前から各部署で連携することが重要である。
- ⑤災害時は情報量が多すぎて、一番肝心なところが分からない事態になる。情報整理班と判断班と分けた方がよい。
- ⑥注意報や警報が出たときの対応策を精査して、現実的にどう対応していくのか考えていきたい。
- ⑦机上訓練や実地訓練を充実すべきと感じた。他市町の事例を参考に取組んでいきたい。
- ⑧防災対策上、より長期的な降雨予測がわかる方がよい。